Watch

岳≡邑_二_三三」L三二三二≡≡】

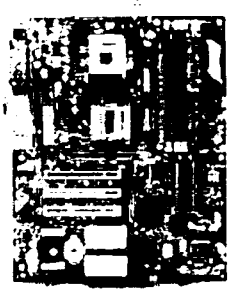
■槻ノ木隆のPC実験室■

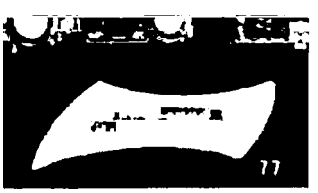
真空管アンプ搭載マザー「Aopen AX4B533-TUBE」を試す

今年6月のCO＼′1PUTEX TAIPEIでAOpenのブースに展示され、その発想の奇抜さで話題を集めたのが「AX4B-533 Tube」である。一見通常のアンプに見えるが、オーディオのアナログ出力に真空管を利用したアンプ搭載するという、非常に「アナログ」なマザーボードである。その効果はいかほどなものか、という事で早速ためしてみた。

■マザーボード上に真空管アンプを実装

AOpenから登場したA姓蛙卜533 Tubeは、同社製品であるAX4B-533(日本では未発売)をベースとし、サウンド出力部に真空管アンプを搭載したPentium 4/Celeron向けマザーボードであるo真空管を使ったオーディオアンプといえば、懐かしさを僅える読者もおられるだろうが、広く普及した半導体アンプや、最近主流のデジタルアンプには無い「味」を求めて、今も-部のオーディオマニアの間では使われているし、そうした層を狙った製品や組み立てキットも今なお存在している。本製品では、PCIスロット3本とCNRスロットをAX4B-533から取り除き、空いた場所に真空管アンプを実装。AC'97 Codecのオーディオ出力をここに直結することで、「味のある音声出力」ができることをウリとしているo





AOpenのAXIB-533デジタルとアナログの融合
Tube。上部3分の2をを成功させたことを示す
見れば普通の^TX「TubeSound
マザーだが、下部がTECHNOLOGY」のエンプ
ちょっと異様な光景レム

j【追記】川出時ナシ天ンオ!あるとi牧/記載が&り呈したが、読者から同じ番号こr');;i-、を浄ってい;:}とい ")二教示;-1ミ J"'>り三したrJ)で削除いたし吏Lた。

なお,本製品は現在では入手がかなり困難となっている。それもそのはずで、本製品はAOpenの直盤埜4王二でrioo枚限定予約販売」という形態を取られたからだc本来は日本市場に投入するつもりがなかったため、このような限定販売になったそうだが、それだけ日本国内での販売を望む声があったということだろう。購入価格は25.000円(その後米国からの直輸入品が秋葉原の店頭でも並んだ)。

真空管アンプ搭載という時点で、イロモノ的な匂いがしてくるこの製品だが、限定予約販売というオマケがついて、さらに食指を動かされる製品となっている。マザーボード上には真空管アンプ搭載をア